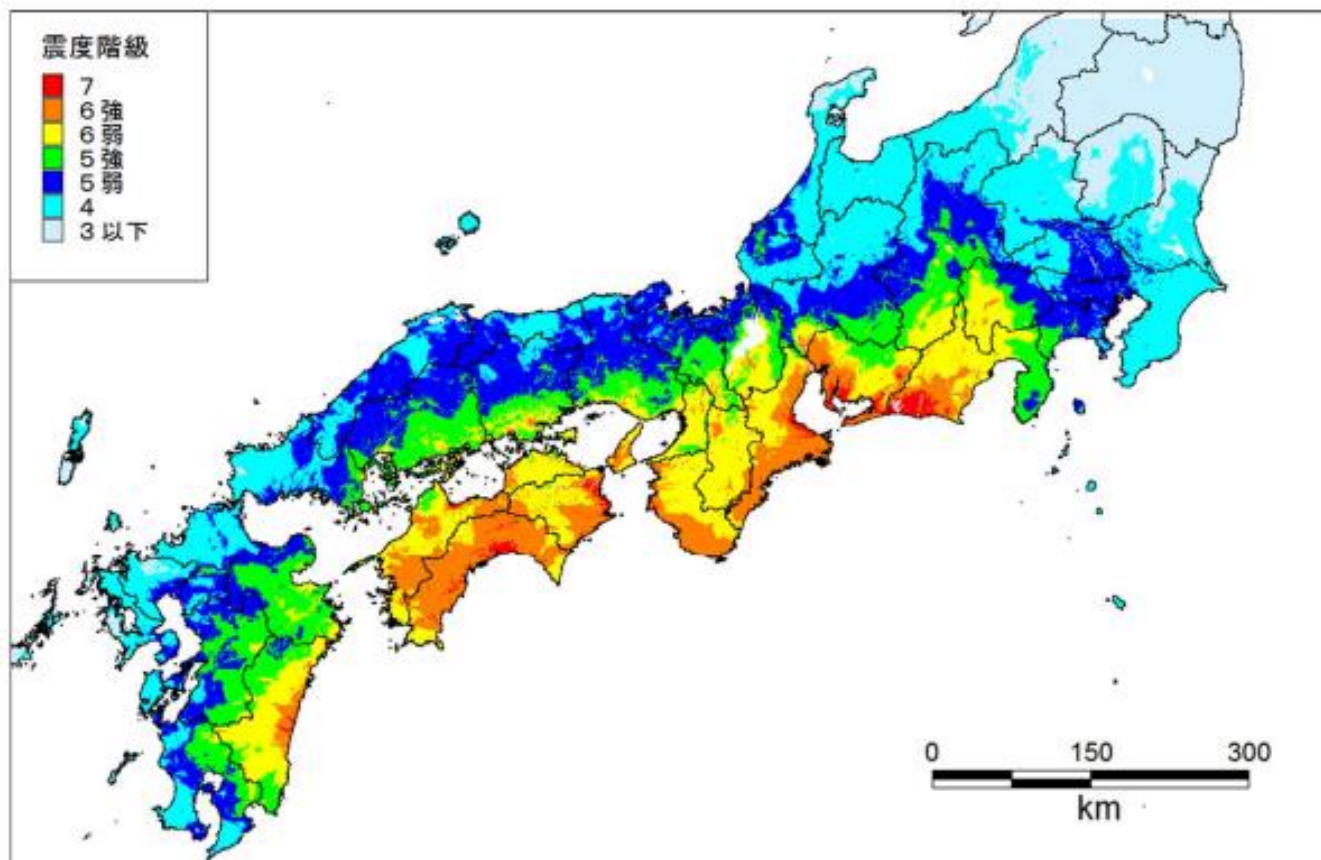


防災対策（自助・共助）について

南海トラフ地震＝超広域災害



被災地

九州から関東まで

人的被害

約 29万8千人

直接的な経済損失

約225兆円

水に囲まれた碧南市



橋・道路の被害



職員参集に影響

避難生活



東日本大震災時の
避難所の様子

避難生活

避難所は心身ともに過酷なところです。

食べ物

アレルギー対応

衛生面

不潔なトイレ、風呂に入れない、害虫の発生

健康面

感染症、エコノミークラス症候、医薬品不足

犯罪等

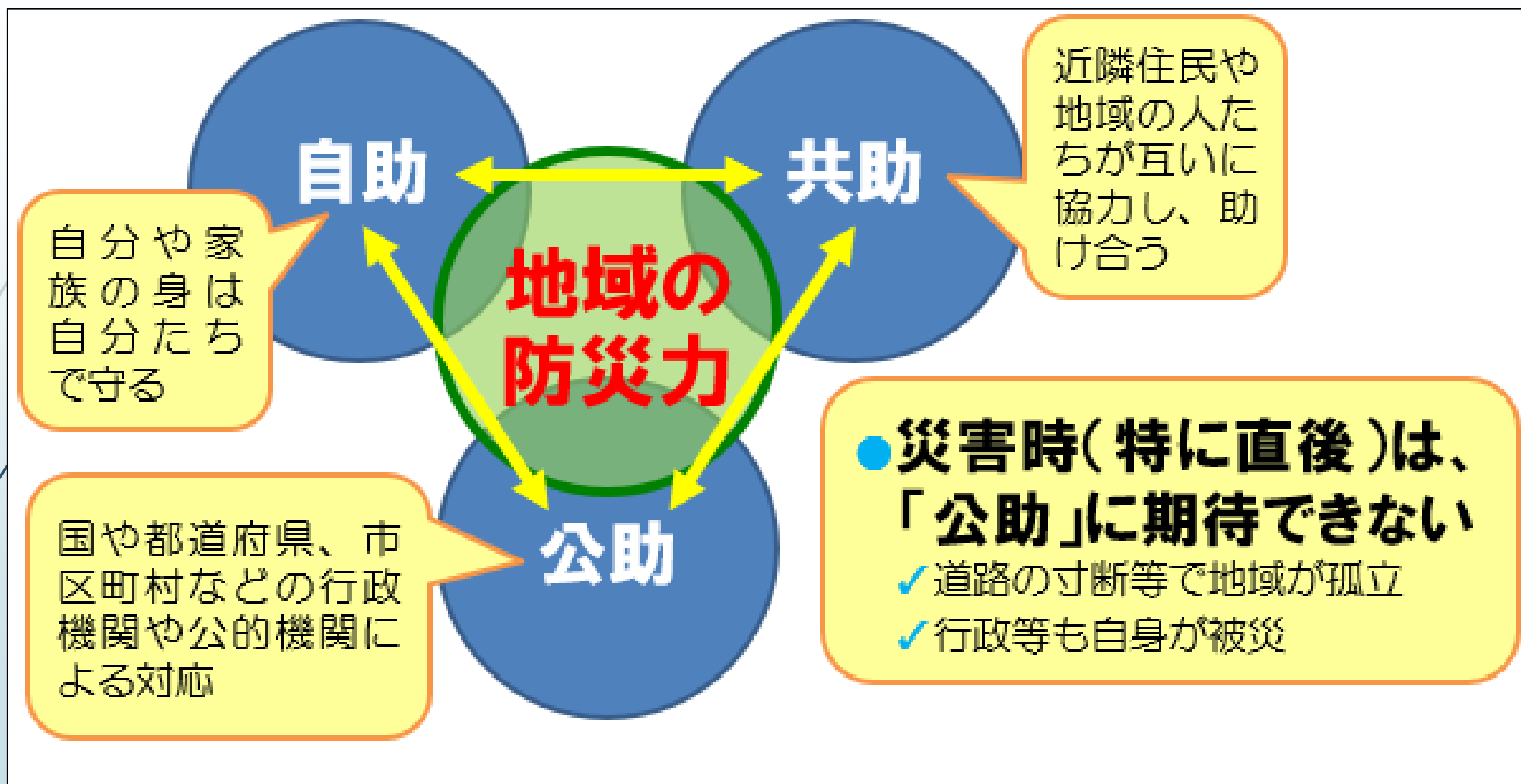
窃盗、暴力、性犯罪、デマの発生

プライバシー

咳やいびき、子供の泣き声

空調

学校の体育館などは未整備



行政が取り組む「公助」

公助の具体的な取り組み

災害に強い都市基盤の強化

情報伝達機能の充実

避難所機能の充実

災害備蓄品の整備

出前講座による自助、共助の啓発

公助の限界

- ・行政が全ての被災者を迅速に支援することは困難。
- ・行政自体が被災して機能が麻痺することがある。

平成26年版 防災白書



南海トラフ地震発災時にも直面せざるを得ない

地域で協力して取り組む「共助」

共助の具体的な取り組み

顔の見える関係づくり

近所の助け合い

自主防災活動への参加

地域の防災訓練

高齢者などの要支援者の避難支援

自主防災会の活動例

- ・ファーストミッションボックス取り扱い訓練
- ・防災備蓄倉庫（コンテナ）の管理
- ・地域全体での避難訓練
- ・応急救護のための訓練

避難所の開設

大規模地震の際に避難所開設は地域で行う。



迅速な避難所の開設



ファーストミッションボックス

自ら取り組む「自助」

主な自助の取り組み

食料、飲料水の備蓄

トイレットペーパー、常備薬などの日用品の備蓄

フェーズフリー「いつも」を「もしも」に

自宅の耐震化、テレビや家具の転倒などの防止

感震ブレーカーの設置

避難経路の確保、家族同士での話し合い

被災しないこと

通電火災

電力復旧時に地震等により傷んだ配線や電気ストーブなどから出火する火災のこと。

「火災を起こさない、広げない」ことが大切

普段の生活から防災へ

フェーズフリーな考えかた

「いつも」と「もしも」の2つのフェーズ（局面）
をフリー（自由）にする

「災害時だけでなく

平時にも使えるように備える」

フェーズフリーのメリット

- ・平時に使えて、かつ非常時に役立つものは経済的
- ・日常的に使用するので、省スペース
- ・平時から災害への意識を持ち続けることができる
そのため、災害時の想像力、対応力が向上

フェーズフリーの具体例

ローリングストック

非常食をいつもの物に

いつも使うものを少し多めに

いつもではないけど、いつもに

カップ麺など

ティッシュなど

野菜ジュースなど

「碧南市 フェーズフリー」で検索



憂いなくして備えなし

ご清聴ありがとうございました。